

近畿 ESD コンソーシアム第 1 回オンライン ESD 連続セミナー概要報告

奈良教育大学 中澤静男

- ◇ 開催日時 2020 年 6 月 10 日 (水) 19 時 00 分～21 時 10 分
- ◇ 方法 Zoom によるオンラインセミナー
- ◇ 参加者数 43 名
- ◇ 内容

「ESD ティーチャープログラムオリエンテーションと MDGs・SDGs 理解促進」

1. ESD ティーチャープログラム

(1) プログラム開発の経緯

平成 27 年度日本/ユネスコパートナーシップ事業

：(5) 教員研修プログラムのあり方に関する調査研究を受託

- ① ESD に取り組む教員に求められる資質能力を明らかにする。
- ② 研修プログラムとして ESD ティーチャープログラムを開発。

(2) プログラムの概要

① 学生を対象とした ESD ティーチャープログラム

- ・ 科目履修、ESD 実践 (2 回以上)、ESD 演習 (2 回以上)
- ・ 3 回生からセミナー (5 回以上参加) での ESD 学習指導案の作成

② 現職教員等を対象とした ESD ティーチャープログラム

SDGs の理解促進、ESD の理論研修、優良実践事例の分析と授業構想案の作成
授業構想案の相互検討と ESD 学習指導案の作成
ESD 学習指導案の相互検討

③ 本セミナー以外の研修

- ・ 森と水の源流館授業づくりセミナー：水の恵み
- ・ 県立万葉文化館授業づくりセミナー：万葉集・明日香
- ・ 春日山原始林授業づくりセミナー：生態系の保全・シカとの共生

④ レベルアップシステム

- ・ ESD ティーチャー：ESD 学習指導案の作成
- ・ ESD マスター：ESD の授業実践と実践報告の作成
- ・ ESD スペシャリスト：学会・研究大会等での ESD 実践の発表あるいは ESD 研修会の開催

⑤ 現在の認定者数

学生の ESD ティーチャー	23 名
現職教員等の ESD ティーチャー	75 名
現職教員の ESD マスター	17 名
現職教員の ESD スペシャリスト	9 名

2. 新学習指導要領と ESD

(1) ESD の位置づけ

前文及び総則に明記された「持続可能な社会の創り手」の育成。それにより、総合的な学習の時間や特定の教科だけでなく、すべての学校教育において、ESD を理念的背景とした教育が求められる。

(2) 「生きる力」を構成する 3 つの構成要素

- ①教科等の枠組の中で育てる資質・能力
- ②全ての学習の基盤としての資質・能力（言語能力、情報活用能力等）
- ③現代的な諸課題に対応するために必要な力←ESD との関連

(3) 見方・考え方の育成

見方・考え方は、断片的知識ではなく、知識を構造化する過程で育てられる。
 構造化（因果関係で結び付ける） 構造化された知識＝説明できる知識
 教科特有の見方考え方から教科横断的な学習による見方・考え方の融合・洗練化。
 さらに実社会を教材にした学習による社会で役立つ見方・考え方への洗練化。
 それを可能にするための「社会に開かれた教育課程」

(4) 「社会に開かれた」の意味

- ①学校教育に地域人材に協力してもらう（関わりが限定的）：各教科
- ②学校が地域に協力する（関わりが広範囲）：総合的な学習の時間・特別活動

(5) 学校でまず取りかかること

○現行の教育実践を見直す

ESD を手がかりに見直し、意味を明確にして、方法を再考し、強弱をつける

- ・形骸化していないか？ 何のために、という目的を考える
- ・「活動あって学びなし」になっていないか？ 児童・生徒の振り返り、文章化を重視
- ・一斉授業でよいのか？ 「教える」から「一緒に探究する」へ

3. ESD の概要

Education for Sustainable Development （持続可能な開発のための教育）

目標：人々の社会づくりに関する価値観と行動の変容を促す教育

◎価値観について

- ・現代人の価値観：経済、市場主義

それをもたらしたのは国家の経済成長に資する人材育成・スキル開発を第一義的にめざしていた教育

- ・持続可能な社会の創り手の価値観：幸福・共生

CfT (Care for Thing) すべてのこと・もの・人に気にかける・大切にすること：丁寧な暮らし方（中澤）

4. MDGs から SDGs へ

第二次大戦後の途上国における経済開発の失敗（×トリクルダウン理論）

→ これからは人間開発を中心に

①MDGs（ミレニアム開発目標）

1. 極度の貧困と飢餓の撲滅
2. 初等教育の完全普及の達成
3. ジェンダー平等推進と女性の地位向上
4. 乳幼児死亡率の削減
5. 妊産婦の健康の改善
6. エイズ、マラリア、その他の疾病のまん延防止
7. 環境の持続可能性確保
8. グローバルなパートナーシップの推進



②SDGs (持続可能な開発目標)

- 目標 1 : 貧困の撲滅
- 目標 2 : 飢餓の解消
- 目標 3 : 健康・福祉
- 目標 4 : 教育
- 目標 5 : ジェンダー平等
- 目標 6 : 水と衛生
- 目標 7 : エネルギー
- 目標 8 : 経済成長と雇用
- 目標 9 : インフラ
- 目標 10 : 不平等解消
- 目標 11 : まちづくり
- 目標 12 : 生産と消費
- 目標 13 : 気候変動
- 目標 14 : 海洋資源
- 目標 15 : 陸上資源
- 目標 16 : 平和・公正
- 目標 17 : グローバル・パートナーシップ

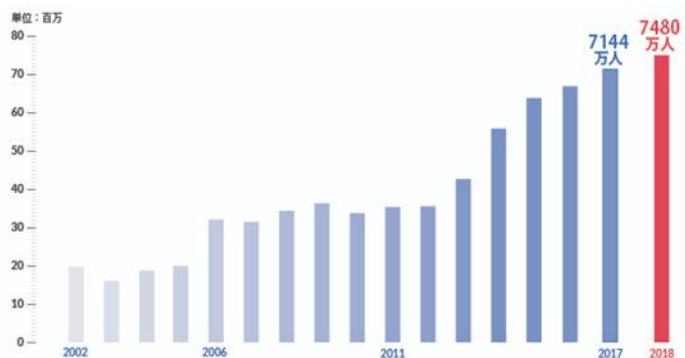


2030 年までの目標
 17 の目標と 169 のターゲット
 社会・環境・経済のバランスのとれた開発
 すべての国が対象

③MDGs と SDGs 違いをもたらした

2つの大きな事件

- 2001年 9.11 アメリカ同時多発テロ
- ナショナリズムの再生
- 宗教対立・分断
- 国際協調路線の後退
- 軍事費の拡大
- 難民の増加



世界の難民数

○2011年 東日本大震災津波

原発の安全神話の崩壊、エネルギー問題への関心・防災意識の高まり
 見えないものへの恐怖感と風評被害

5. SDGs を分類する

- (1) SDGs の 17 のゴールの中で MDGs の①～⑥を引き継いだゴール ①～⑥
- (2) 特に環境問題に関するゴール ⑦・⑬・⑭・⑮
- (3) 特に経済問題に関するゴール ⑧・⑨・⑫
- (4) その他社会問題に関するゴール ⑩・⑪・⑯
- (5) 実施手段 ⑰

SDGs 関心度ダイヤモンドランキングによる気づき

次回の連絡

6月25日(木) 19時からです。
 Zoomによるオンラインセミナー。
 次回は受講学生(3回生以上)とESD
 ティーチャーのマッチング、及びESD
 ティーチャーを目指す現職教員等と
 ESDマスター・ESDスペシャリストの
 マッチングを行います。
 それと、SDGs理解促進が内容です。